

『大阪春秋』149号発刊記念ミニシンポ 「飯盛山城と戦国おおさか」

この四半世紀の中世城郭の研究成果を踏まえた今回の特集により、飯盛山城と大阪の中世城郭の世界を解明します。あわせて歴史遺産である山城を広く市民のために活かす方法を考えます。

《報告》

「飯盛山城と戦国おおさか」

中西裕樹氏（高槻市立しろあと歴史館）

「烏帽形城の歴史と今後」

尾谷雅彦氏（河内長野市教育委員会）

「中世城郭を活かしたまちづくり」

浅野詠子氏（ジャーナリスト）

《シンポジウム》

パネリスト：各報告者と『大阪春秋』特集号執筆者（予定）

司会：小林義孝（NPO法人 摂河泉地域文化研究所・本誌編集委員）



忍陵神社から飯盛山城跡を望む

DATA

日時：平成25年1月26日（土） 午後1時半～4時半（午後1時より受付）

場所：大阪商業大学 商業史博物館 河内の郷土文化サークルセンター室
〒577-8505 東大阪市御厨栄町4-1-10
（近鉄奈良線「河内小阪駅」下車、北東へ徒歩5分）

定員：先着順50名

参加費：無料

*本シンポジウムは大阪春秋第36回講演会も兼ねています。友の会会員様には、『波濤を越えて ローマからはるか河内へー飯盛山城と河内キリシタンー』（NPO法人 摂河泉地域文化研究所編集、中井書店刊行）などを贈呈。

連絡先：株式会社新風書房（電話06-6768-4600/FAX06-6768-4354）

または、NPO法人 摂河泉地域文化研究所 小林（電話090-3860-5200）まで